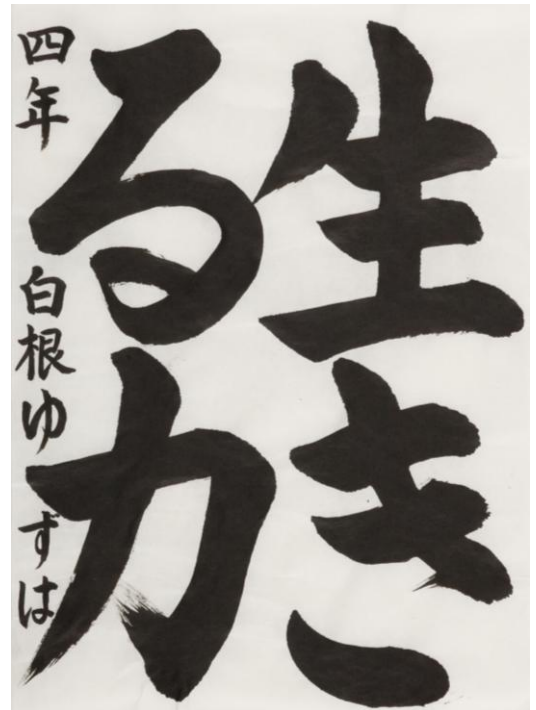




なつ

高住 侑希 小1(米子市)

筆の根元までしっかりと墨を含ませ、うるおいのある線で書かれた作品です。画数の違うひらがな二文字を半紙に収めることは難しいですが、文字の形を上手にとらえて書けています。腕を大きく動かし、「つ」の最後のはらいまででいねいに書き上げ、喜んでいる姿が浮かんできました。書き始めから書き終わりまで、気持ちを切らさずに書き上げたことが伝わってきて心が温くなりました。今後の成長を楽しみにしています。



生きる力

白根 ゆずは 小4(南部町)

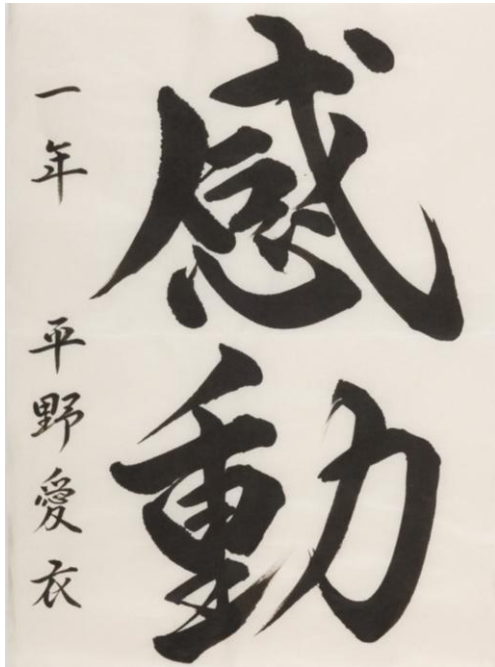
特別賞

言葉の意味と筆づかいの確かさ、筆運びのスピード、全てがうまうまきました。「き」の3画目のやわらかさ、「る」の結び、「力」のはね、難しいところですが、逃げずに挑戦しています。目指す形があって、近づくための筆づかい、腕や体の動かし方を工夫しながら何枚も練習し、レベルアップしていったのではないのでしょうか。そして、一つ一つの文字だけでなく、それぞれの文字の形を意識しながら四字を上手く収めることができました。すばらしい作品です。

出発

山根 知夏 小5(大山町)

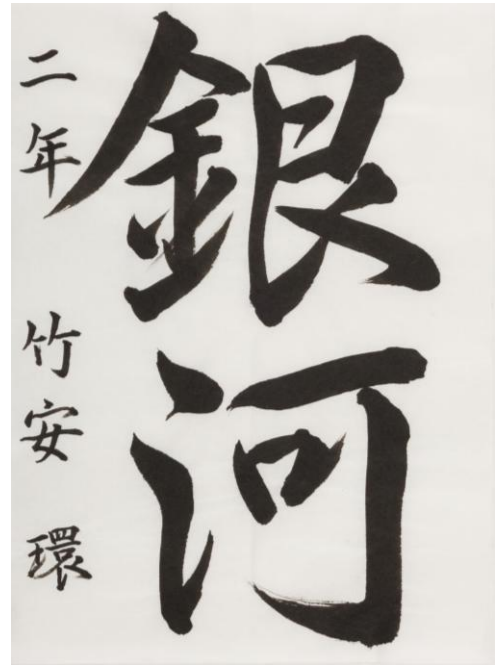
のびやかな線で、一画一画をていねいに書き、力強さを感じる作品です。筆遣い、字形の整え方がとても上手で、毛筆の楽しさを感じながら、作品に向きあっている姿が想像できます。名前も一画一画おろそかにしないでていねいに書くことは、他の人たちの目標となることでしょう。すばらしい作品です。これからも毛筆でさまざまな文字を書き、作品づくりに挑戦してください。さらなる成長を期待しています。



感動

平野 愛衣 中1(鳥取市)

筆脈が通っていて、筆の流れ、勢いが切れずに、二文字もつながっています。線の強弱に変化があり、行書の特徴をよく生かしています。字の組み立てを意識してバランスを取り、全体として力強くのびやかで、リズムカルな動きのある作品となっていて、「感動」という言葉にふさわしい、生き生きとした、はずむような気持ちが伝わってきます。



銀河

竹安 環 中2(米子市)

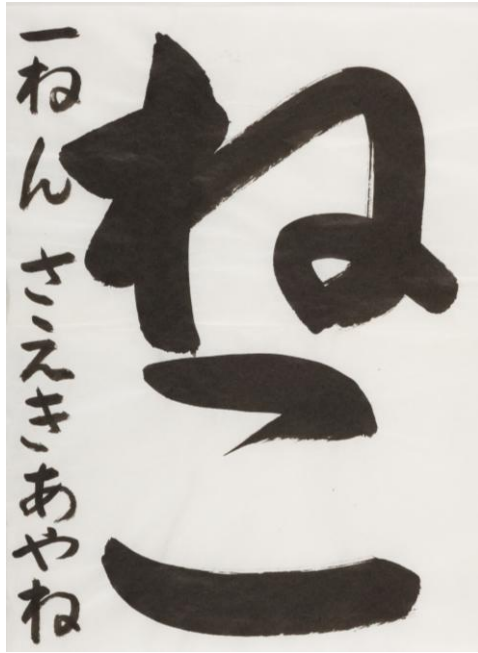
行書の特徴をよく生かしながら、一画一画にすっきりとした力強さがあります。全体としても堂々とした安定感と明るさがあり、澄んだ夜空の美しさを連想させてくれます。また、起筆から収筆まで筆脈がよく通っていて、気持ちよく筆を運んでいることが分かります。行書らしい柔らかさがよく表現されていて、字の内側の余白も美しく感じられる作品です。



書美墨香

片岡 彩希 中3(米子市)

四文字という半紙に収めるのが難しい題材で、それぞれの文字が窮屈さを感じさせず、のびやかに書かれています。また、一字一字が力強い線筆で書かれていて、全体として堂々とした風格を感じさせる作品に仕上がっています。軸となる画をしっかりと書きながら、連続する横画を方向を意識していいいに書くことで、濃い墨の美しさを感じさせてくれます。



ねこ

佐伯 綾音 小1(境港市)

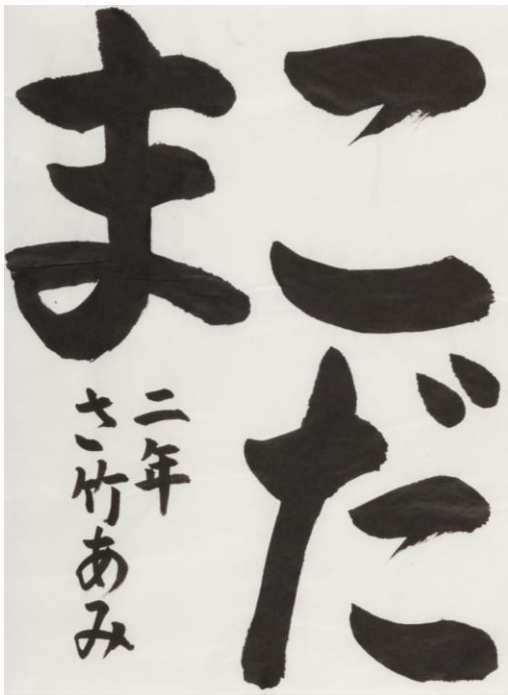
しっかりとした筆使いで書かれています。猫のかわいらしさが伝わる作品です。



山

平澤 りん 小2(智頭町)

ゆるぎない線で書かれているだけでなく、余白の美しさも魅力的な作品です。



こだま

佐竹 亜美 小2(南部町)

穂先まで集中して書き上げた作品です。筆を上手に使い、技術の高さが感じられます。



山里

関 翔太 小3(米子市)

二字の大きさのバランスがよいです。筆の動かし方が堂々としていて気持ちのよい作品です。



つなぐ手

川崎 あおは 小3(米子市)

書き方に迷いがなく、正確な筆づかいです。
言葉の選定に思いを感じることができました。



ともだち

山崎 恵掌 小3(境港市)

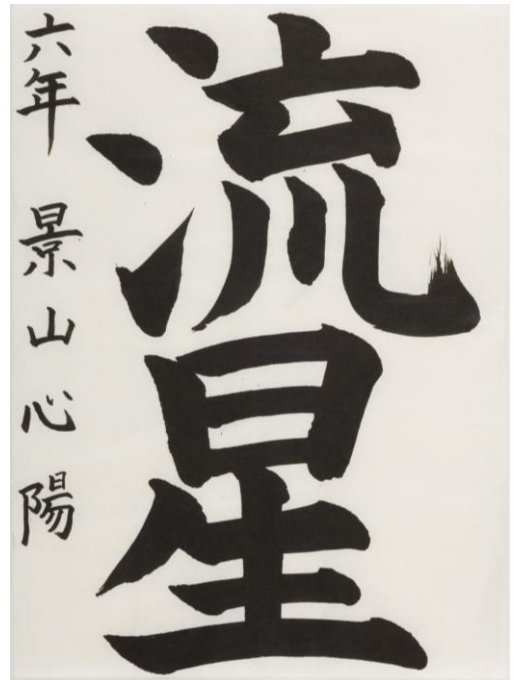
四字をうまく収めることができました。筆の性能を活かしながら、たくましく書けました。



地球

原 歩乃佳 小6(米子市)

文字のバランス、配置、筆遣いなど今まで学んだことを生かして書いた作品です。



流星

景山 心陽 小6(米子市)

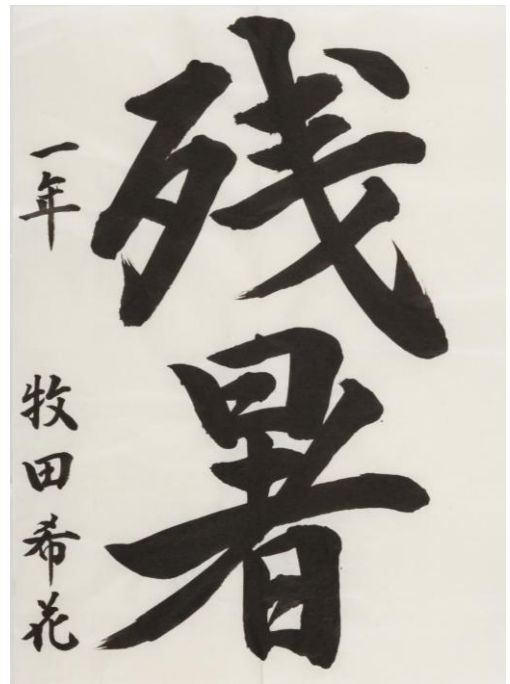
二文字の配置をよく考え、一画一画をていねいに、のびのびとした線で書いた作品です。



地球

黒岩 莉穂 小6(米子市)

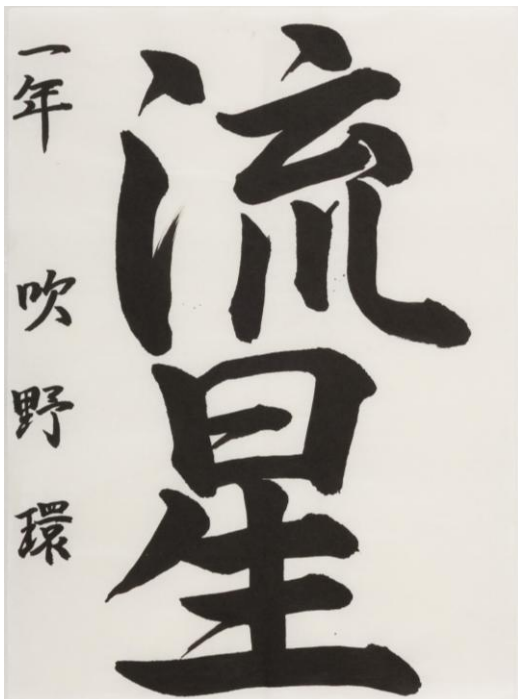
のびやかな線で力強く書き上げた作品です。
始筆から終筆まで集中して書いています。



残暑

牧田 希花 中1(倉吉市)

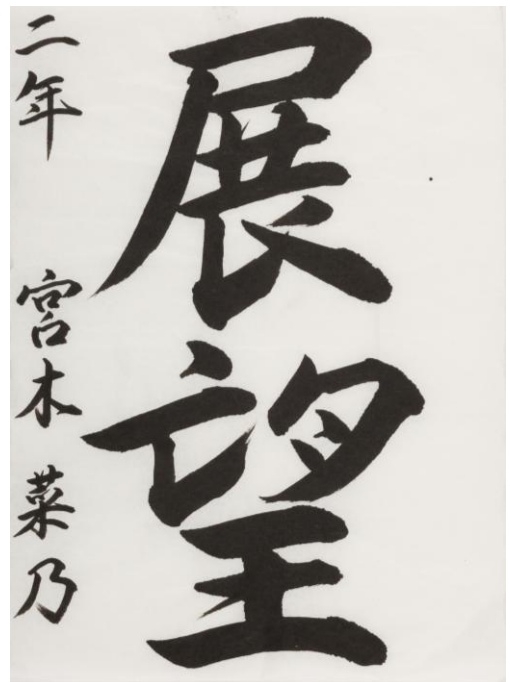
行書らしい点画の柔らかさを表現しながら勢いがあり、のびやかに気持ちよく書いていることが分かります。



流星

吹野 環 中1(米子市)

筆脈が通っていて、ていねいに書かれたそれぞれの点画から、きりっとした力強さを感じる作品です。



展望

宮木 菜乃 中2(米子市)

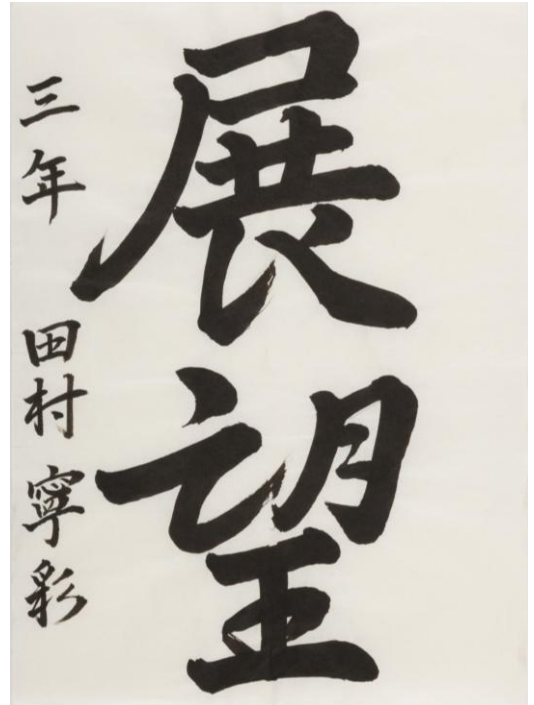
一画一画が力強く、特にはね、はらいなどの点画を、穂先に注意しながら最後までていねいに書いています。



美術の秋

野坂 律季 中2(米子市)

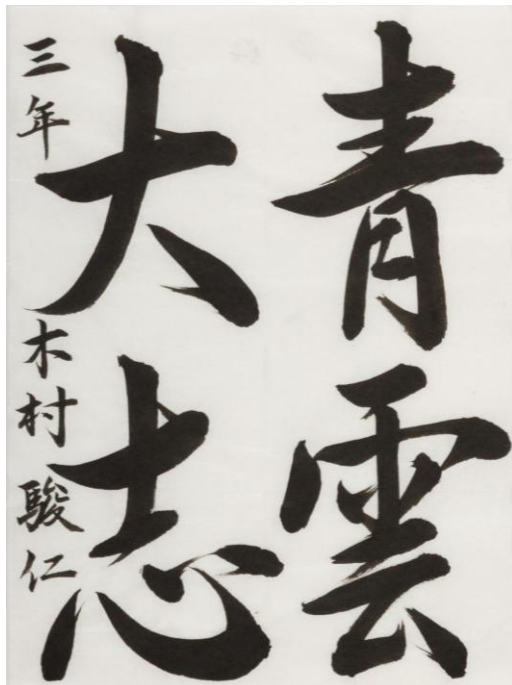
半紙に四文字を見事に収めています。印象的な画をのびやかに書き、力強さの中にも繊細さを感じられます。



展望

田村 寧彩 中3(倉吉市)

行書の特徴である点画の柔らかさ、意志の強さを表しているような筆圧の強さを生かして、よくまとめています。



青雲大志

木村 駿仁 中3(米子市)

筆圧の強弱や筆脈を意識して書き、一字一字がのびやかで大きく見えます。軽やかで明るさを感じる作品です。

(講評及び作品評は各部門審査員が執筆)

●小学校

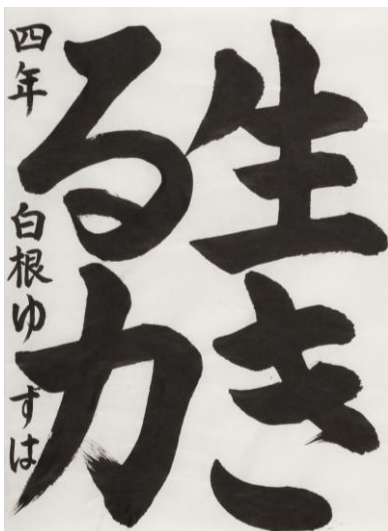
たくさんの作品を見ながら気づいたことをみなさんに伝えたいと思います。来年また応募する時に、また普段の書写の学習でも参考にしてもらえると嬉しいです。まず、どんな言葉を書くか、選ぶ楽しみを味わいましょう。毎日生活する中で感じたことや知ったことを題材にしてくれている人がいました。言葉に興味や関心をもつことはとても大事です。次に、書きたいと思った文字にはどんなルールがあるのかよく観察してみてください。線の長短、角度、接し方、紙のどこに配置されているでしょうか。先生や友達、おうちの方と話をすると自分では気づけなかった新たな発見があるかもしれません。筆の使い方は難しく感じるところです。たくさん書いて筆と仲良くなること、動かすスピード、力のかけ方(筆圧)を工夫することです。そうしていると「あ、これだ!」と感じられる瞬間がやってきます。リラックスして肩の力を抜いて、のびのびと楽しく文字を書いてくれることを願っています。

●中学校

今年は336点の作品が寄せられました。行書の作品も多く、自分の書きたい文字に楷書か行書のどちらがふさわしいのかを考え、楽しみながら作品に取り組んだ人も多かったように思われます。行書の特徴の一つとして点画の連続があります。筆脈には気持ちが表れやすく、書き手の呼吸や集中力、心の状態が映し出されます。ただ手本の文字を真似するだけでなく、自分がどんな文字を書き、何を表現したいのかを考えて書くと、更にすばらしい作品に仕上がると思います。

また、書写を通して単に文字をきれいに書く技術を習得することのみにとどまらず、筆や墨を使いながら日本に古くからある文字文化に親しみ、文字や言葉そのものへの関心を深めていってけることを期待します。

●特別賞 「生きる力」 白根 ゆずは 小4(南部町)



「生きる力」半紙に四文字をバランスよく配置して書くことは、とても難しかったことでしょう。この言葉のように完成した作品には、「力強く生き抜いてほしい」…そんなメッセージが伝わってきます。書写の技術とともに、言葉にこめられている思いをこめて書いたすばらしい作品になりました。

これからも毛筆で書く楽しさを感じながら作品作りに挑戦し、さらなる成長に期待しています。